

		チェック項目	はい	いいえ	・印；工夫している点 *印；課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13		・事業所が2つあるので確保できている *これ以上増えると勉強スペースが狭くなる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		*バリアフリーについては、対象児がいる場合には検討が必要 *借家のため難しい面もある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・子供と一緒に清掃するなど清潔になっている ・学習する場と遊ぶ場で分けている ・子供の活動や状況に応じて空間を区切っている
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12	1	・個別の部屋がないので必要な時にカーテンで仕切っている *借家のため個室の確保は大きな課題である
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		・毎日の打ち合わせや定例の職員会議などで話し合っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		・職員会議や日々の打ち合わせで意見交換し改善につなげている ・職員全員で常に情報交換を密に行っている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	—	—	（第三者による外部評価は行っていない） *相談員が来所した際に評価に関する点も聞くようにする
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・職員会議で資料を使って研修したり、動画を使って研修をしている *緊急時（心肺停止、窒息等）の研修は全体で行う必要がある *重要な研修はパート職員も一緒に行う、又は資料を配布するなど改善する
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		・HPで公開している
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	12		・保護者からの情報を常に共有してニーズを把握している ・フェイスシートや保護者への聞き取りを行って計画に反映している
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12		・常勤職員全員で支援会議で検討して作成している
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		
	15	こどもの状況を、標準化されたアセスメントや、日々の行動観察なども含むアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		・フェイスシートやチェックシートを活用して確認している
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		・保護者・本人の意見を取り入れて作成している
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12		・週のリーダーを交代で行いチームで内容の確認を行っている

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12		・季節や子供の状況、天候などを考慮して行事や活動を工夫している
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる支援計画を作成し、支援が行われているか。	12		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		・問題があった際には全員で情報交換を行い対応を考えている ・打ち合わせの記録で確認すると共に詳しい確認も行われている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4	・次の日に振り返りを行い、子供の様子や送迎時の保護者情報も共有している ・送迎後には事業所に戻らないので翌日に行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	1	・打ち合わせの記録簿を作って対応している ・連絡帳に日々の変化・気づきを記入して保護者とも共有している
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		・半年に1回、フェイスシートを使って見直しを行っている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	10		・平日と休日の内容を工夫して組み合わせている
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		・様々な活動を取り入れ、子供の得意が生かせるようにしている
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		* 令和7年度から自立支援協議会に子ども部会が設置され、委員として積極的に参加してさらに連携を深めたい
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	-	-	(今のところ対象者がいない)
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	12	1	・夏休みに近隣の小学校の学童と交流を行った
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	8		・町や学校が開催する協議会に参加している * パート職員に対しても情報を共有できるようにしたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		・送迎時の保護者との会話を大切にしている ・保護者と話せる機会（送りの際）は大切なので、担当を代えて全員で対応できるよう工夫している
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		・必要に応じて対面や電話での相談支援を行っている * 問題を抱えている保護者に対してはさらに積極的に相談を持ち掛ける
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12		・契約の際に丁寧に説明を行っている
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		・更新時にもフェイスシートを配布して、状況の変化や願いを記入してもらっている

保護者への説明等	38	個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか。	12		* 対面での説明が不十分であるので積極的に呼びかける
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12		・ 必要に応じて面談を行い、相談・支援を行っている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		・ 年に2回保護者会を行い、保護者同士の交流も行っている
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12		・ 契約時に苦情の対応方法について説明している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	11	1	・ 月に1度子供の様子を写真で提供して喜ばれている ・ LINEを使うことで保護者との連絡がスムーズになっている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		・ 入社時に守秘義務についての誓約書を書いている
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	・ 近隣の家からミカン狩りに招待されたり、おもちゃを頂いたりという関係作りができています ・ 町で開催するアート展に積極的に参加して地域に知ってもらおうようにしている ・ 関係機関や保護者にいつでも見学できるような環境づくりをしている
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	* パート職員や保護者には情報を伝える場が不十分である。保護者会や契約時にきちんと伝える、パート職員も含めた研修会で伝えるなどの工夫をしていく。 * 職員には周知しているが保護者には十分伝わっていない * 保護者会でより明確に説明を行うこととする
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		・ 定期的に避難訓練を行っている
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	13		・ 服薬については打ち合わせ記録やホワイトボードを使って確認できるようになっている
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	—	—	(今のところ対象者がいない)
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		* 保護者会やHPを活用してより積極的に情報提供を行う
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		・ 小さな事故でもヒヤリハット事例を作成し職員で共有している
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載しているか。	—	—	(今のところ対象者がいない)	